

新年度予算及び組織改正等に関する説明について

1. 日 時：令和7年2月13日（木）18：00～19：00
2. 場 所：教育委員会会議室
3. 出席者：
 - （市）総務課長、総務課総務係長、教職員人事課長、教職員人事課係長、教職員給与課長、教職員給与課労務制度係長、担当1名
 - （組合）神戸教組 副執行委員長、書記次長
 - 市高 執行委員長、書記長
 - 全教神戸 執行委員長、書記長
 - 自教労 執行委員長、副執行委員長
 - 市職教育支部 支部長
 - 市従教育支部 書記長、書記次長
4. 議題：新年度予算及び組織改正等について
5. 発言内容：

新年度予算・組織改正等について別紙に基づいて説明

以下、質疑応答

（組合） P4「⑩学校施設のバリアフリー改修」について、これまでも数多く対応してもらっている。その学校に改修が必要な児童生徒が入学したタイミングで対象校を選定してきたと思うが、それについては変わらないか。

P4「⑬通学手段確保対策」について、神姫バスが今回廃止されたということで、新聞報道にも出ていた。一方、隣の岩岡町は長田区よりも広い校区であるが、小学校は、1時間以上かかり集団登校せざるを得ない人たちもいるが、岩岡町からは何か要望などは上がっているか、隣の町ということで何か対応はありうるのか。

P5「③教職員の働き方改革」について、各学校の主体的な取り組みに対し経費的支援を行うということで5,000千円計上されているが、どのような方法で支援を行うか等具体的に教えてもらいたい。

P6「『KOBE◆KATSU』の推進」について、これまで300団体の申込みがあったとのことだが、その団体がどういった団体か属性など教えてもらいたい。

組織改正について、P8「副局長制の導入」について、事務局長、教育次長の下に副局長が配置され、その下に担当部長が配置されるとのことだが、副局長の役割分担についてイメージが分かりにくいので、導入する趣旨を含め

で教えてもらいたい。また、「保健師の配置」について、これは市長部局等から異動で来るのか、新たに別途採用するのかどうか。

(市) バリアフリー改修について、エレベーターの設置については、対象の児童生徒の入学が想定される場合に設置する場合があると聞いているが、それ以外の分については、大規模改修に合わせて実施しているものも多数ある。

通学手段確保について、岩岡の方の声は耳には入っている。平野小については神姫バス2キロ以上の補助があったが、それを代替手段として通学手段を確保するという位置づけであり、岩岡については考えていない。

教職員の働き方改革について、働き方改革トライアル事業として5,000千円がついたものである。それぞれの学校が量・質の向上のアイデアを各学校で年度初めに出してもらい、そのアイデアを事務局で審査し、1校あたり50万円×10校程度で事業費の配分を想定している。

コベカツについては多種多様な団体が申込みいただいている。企業や連名での応募など。体育館での活動が多い。ボルダリングや釣り等活動の応募もある。

組織改正に関して、副局長制については、市長部局で既に導入が進んでいるが、今回の学校教育課と教科指導課の統合も踏まえ、より円滑に情報共有・連携を推進できるようにする趣旨である。2名配置であるので、新設される各担当部長とともに適宜役割分担することを考えている。

保健師については、市長部局から異動するものである。

(組合) P1「②学習用端末の更新」について、ハード面ではなく、端末の使用方法等について、子どもたちの間でトラブルの原因になっている。使用時間の制限など、その対策についてはこの予算の中で措置されているか。

P2「⑧小学校教科担任制の推進」について、予算が記載されていないが、予算がついていないという理解で良いか。推進するためには人の配置などが必要かと思うがどうか。

P2「①不登校などの児童生徒に対する支援」について、昨年度校内サポートルームの支援員が配置されたが、その待遇や勤務時間の拡大については予算の中で措置されているか。

P5「②チーム担任制の導入」について、500千円について内訳を教えてほしい。モデル校実施の中で問題点もでてきているかと思うが、その対策の現状についても教えてもらいたい。

(市) 学習用端末使用の時間制限については賛否がある。現時点では具体的な端末が未定であり、今後どうすべきかについて検討していきたい。

教科担任制については、文科省で予算が確保されているが、近日中に定数

が示される予定。それを踏まえて対応する予定である。

支援員については、来年度に関しては予算上変更なしの予定。児童生徒課のほうで、今年度の状況を踏まえ、どういう配置が望ましいか等検討していきたい。

チーム担任制の500千円については、検証費用である。色々な教員の目が入るといい面もあれば、責任の所在が曖昧になることや情報共有がうまくなされないなどの悪い面もあるが、新任の教員等を学校全体でカバーできるという面でメリットの方が比較的大きくなると考えている。近日中にモデル実施のまとめ資料が作成される予定と聞いており、それらを踏まえて柔軟に状況を踏まえながら実施していきたいと考えている。

以上